

図書だより



駒羽根小学校
令和3年2月2日

◇春よ来い◇

節分は立春の前日なので、今年は2月2日が節分です。2日が節分になるのは124年ぶりだそうです。節分は「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味を込めて悪いものを追い出す日だそうです。「鬼は外、福は内」と言いながら豆まきをします。鬼退治と言えば炭治郎、豆といえば福豆子を想像してしまいますね。暦の上では春の始まりですが、冬の寒さは2月がピーク。本格的な春が来るのはもう少し先の様子ですね。

節分の夜、豆まきをした後に読んでみませんか？

「せつぶんだまめまきだ」



「泣いた赤おに」



「島ひきおに」



「おにのよめさん」



「おにたのぼうし」



「だいくとおにろく」



「巻寿司のひみつ」



「豆からつくる食べもの」



☆50冊賞, 300冊賞は達成できましたか？☆

1年間で50冊以上…「教育長賞」

4, 5, 6年生の3年間で300冊…「県知事賞」

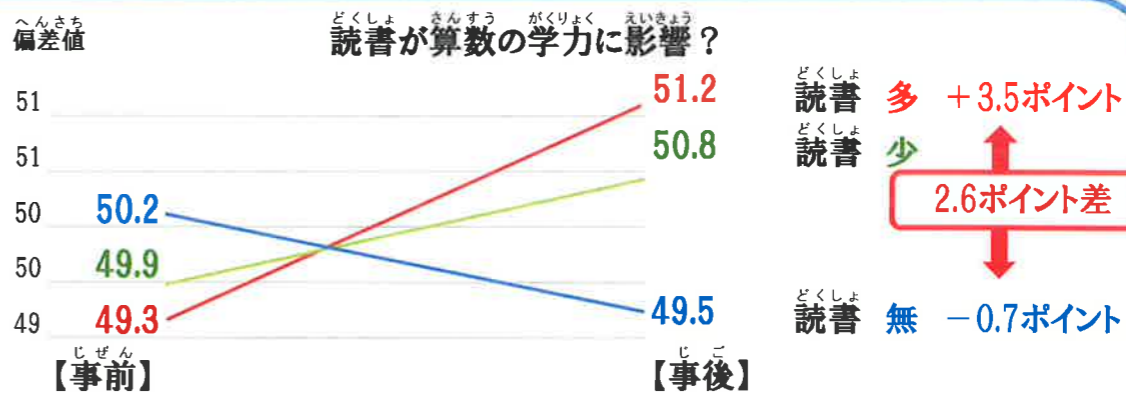
駒羽根小では全員が50冊賞を達成できるように頑張っています。まだ達成できていない人は休み時間などを利用して図書館に来てください。あなたにピッタリの本を探します。「読書カード」に記録し忘れていた人は、あなたが借りた「読書記録」を見せますので図書館の先生に声をかけてください。

6年生のみなさんへ

もう少しで300冊賞を達成しそうな人は、卒業式までに賞状が間に合うように頑張りましょう。



4年生, 5年生, 6年生全員50冊賞達成!



この表はベネッセコーポレーションの家庭学習教材の電子書籍サービス利用データから、子どもたちがどのような本をどのくらい読んでいるかや、読書量と学習行動にどのような関係があるかを表したものです。結果から、読書量が多い子どもほど学力を伸ばしていることがわかりました。読書量の「多い」子どもは平均で「+1.9」偏差値を上げているのに対して、「少ない」子どもは「+0.9」、「無」の子どもは「-0.7」と偏差値を下げていました。「読書=国語」とイメージしがちですが、「算数」では読書量が「多い」子どもは偏差値が「+3.5」と上がり、また「算数」ほど強くないものの「社会」でも読書量の効果が見られたそうです。読書習慣によって学習習慣が整い点数向上にプラスをもたらしたことなどが推察されます。是非、日常に読書習慣を取り入れてみましょう。